

広

報

お知らせ版

# 薩摩川内

広報さつませんだい  
2016

No.291

育てよう

地域の力で

子どもの未来を

ふじもと棚田米づくり

稲刈り体験

迫力ある

オーケストラ演奏に感動

祈答院

矢旗を背負い  
華麗な舞を披露

特別奨学金の給付に

役立てます



「青少年育成の日のつどい・子ども会大会」が10月15日(土)、国際交流センターで開催されました。400人を超える参加者があり、ポスター・標語作品表彰、活動発表などの他、京都府視覚障害者協会副会長の松永信也氏による講演が行われました。



10月16日(日)、藤本地区の「岩下の棚田」で、ふじもと棚田米づくりの稲刈り体験イベントが開催されました。

子どもたちを含む25人の参加者は、実行委員の手ほどきを受け、手刈りと掛け干し作業を体験しました。休憩時間には手作りのおやつが振る舞われ、クイズなどを通して交流を深めていました。

【写真・記事提供】=藤本地区コミュニティ協議会



10月26日(水)、関西フィルハーモニー管弦楽団の公演が入来小学校体育館で行われ、入来・朝陽・大馬越小学校の児童が鑑賞しました。これは、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業」の一環で実現したものです。各小学校の校歌をオーケストラの演奏に合わせて合唱するなど、約60人の楽団員と魅力いっぱいの時間を過ごしました。

【記事提供】=入来小学校

10月12日(水)、大村地区で秋季大祭が開催され、地区内5カ所で馬頃尾太鼓踊りが奉納されました。この踊りは稲に降りかかる災厄を退散させる儀式で、馬頃尾自治会の青年団により守り引き継がれているものです。



▲(株)技建 代表取締役 桑木野芳明氏

創業40周年を迎えた(株)技建から、「子どもの支援や教育に役立ててほしい」と100万円が本市に寄附されました。この寄附金は、市特別奨学金基金に積み立て、経済的理由により高校修学が困難な学生のために役立てられます。